

「第二十八回 スクエア free」セミナー

「あらゆるスマホ、タブレットで、 電子マニュアルを閲覧」

～ 企業内の電子マニュアルを
セキュア&簡単に配信 ～



株式会社ソフトウェア・パートナー

本日のアジェンダ

1. スマホ・タブレット向けシステム開発の背景
2. コンテンツ管理システムのご紹介
～ 「SP スマートコンテンツ CUBE」
 - (1) 導入にあたっての検討課題
 - (2) デモ
 - (3) 概要
3. コンテンツ管理のコア技術
～ 「MicroWebServer」
4. 今後の予定について

1. スマホ・タブレット向けシステム開発の背景

- 株式会社ソフトウェア・パートナーは **SI企業** です。
- 開発では全てをスクラッチで対応するのではなく、汎用的な機能はパッケージとして提供することで、お客様の開発費用を抑えてきました。
- スマートフォンやタブレットのシステム開発においても、
 - 「既存のWEB技術で簡単に開発できる」
 - 「ワンソースでマルチプラットフォームに対応する」
 - 「オフラインでもアプリを利用できる」というニーズにこたえるために、3年前に『MicroWebServer』というスマートフォン／タブレット向けソフトウェアを開発しました。
- この製品は、**端末内部でWEB/AP/DBサーバを立ち上げるミドルウェア**になります。
- 多くのタブレットアプリを開発していく中で、最もニーズの高い「**コンテンツ管理**」をパッケージとしてリリースしました。
- アンテナハウスが開発した『CAS-UB』で作成した電子マニュアル（EPUB3、PDF、HTML）の閲覧や管理に役立ちます。



2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」①

(1) コンテンツ管理システム導入に当たっての検討課題

① 利用者のことを考えて・・・

- 最新の文書を配信したい
- 特定のスマートフォンやタブレットに限定したくない
- 通信ができない、通信が不安定な場所でも見れるようにしたい
- いろいろな種類のコンテンツを見れるようにしたい
(電子ブック、PDF、動画、静止画、Webページ など)
- 利用者が簡単に操作できるとよい
- 自社の業務や社員スキルを考えて、カスタマイズにしたい



2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」②

(1) コンテンツ管理システム導入に当たっての検討課題

② 管理者のことを考えて・・・

- コンテンツや利用者は管理者で一元管理したい
- 利用者の権限やグループによって配布するファイルを制御したい
- セキュリティ対策が必要
(紛失時の抹消、操作ログ取得、暗号化、認証、コンテンツ改変不可)



低価格

自社向けにカスタマイズを行いたい (アイコン、背景、認証 など)



コンテンツ改善のための閲覧ログの取得



2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」③

(2) デモ

【動画をご覧ください】

2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」④

(3) 概要

【ポイント】

- オフライン環境で高速に閲覧可能
- マルチタブレット対応（同一アプリで動作）
- カスタマイズも簡単
（生産性の低い開発言語でなく、既存のWebアプリ言語で高速開発）

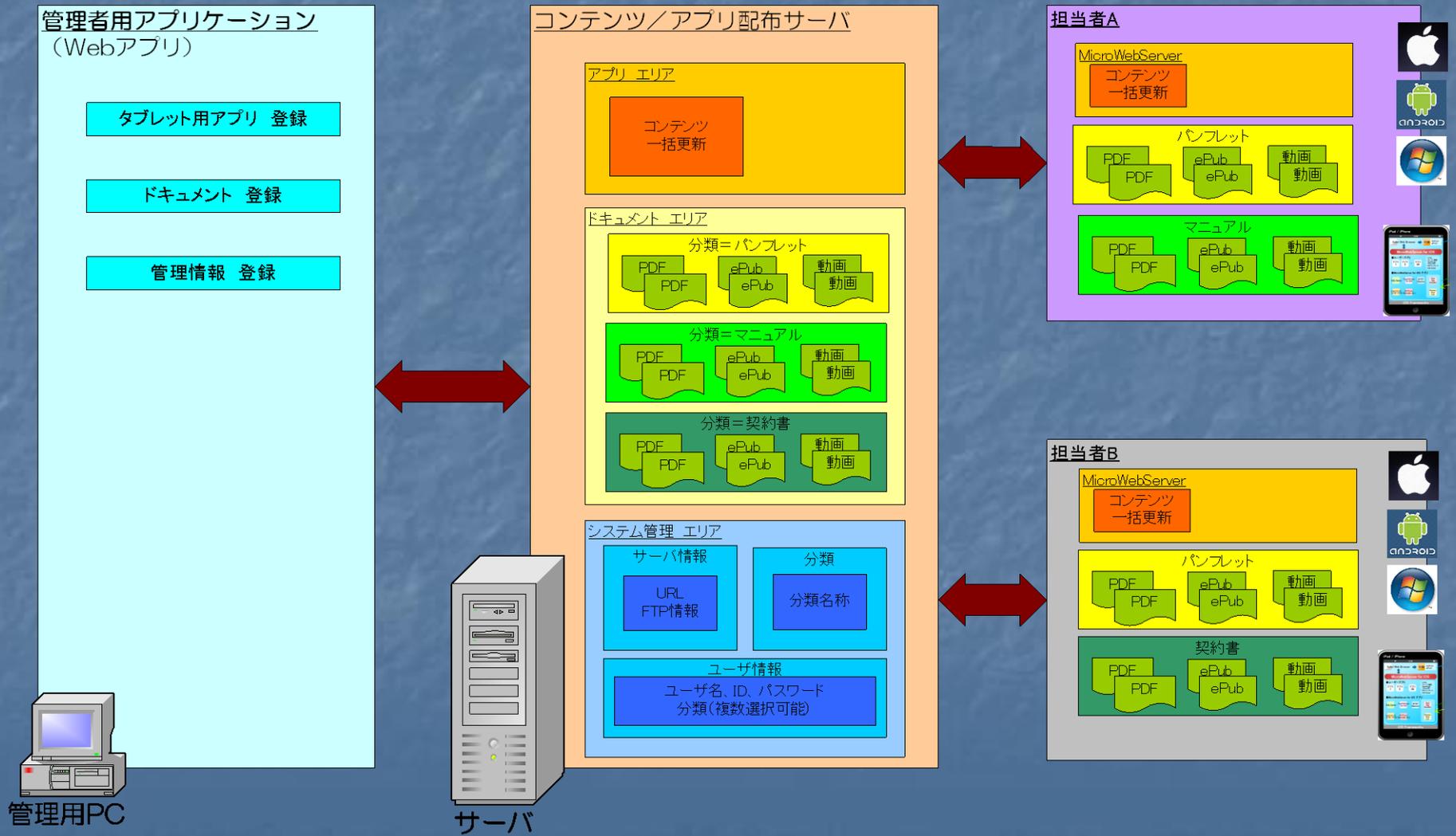
【機能】

- クライアント側
 - ワンボタンでサーバ側のコンテンツと比較し、更新可能（オンライン接続時）
 - タブレット内部にコンテンツを保有し、高速に閲覧可能
 - 「ファイル名」「カテゴリー」「Windowsライクなディレクトリー」で簡単に検索可能
 - お気に入り（複数設定可能）に登録し、利用者が自由にカテゴリー設定することも可能
 - iOS、Android、Windowsのどの環境でもオフラインで動作
 - 操作ログの取得
- サーバ側
 - Web画面でコンテンツの登録、ユーザ設定が可能
 - 利用者ごとにタブレットの更新状況を確認可能

2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」 ⑤

(3) 概要

【システムイメージ】



2. コンテンツ管理「SP スマートコンテンツ CUBE」 ⑥

(3) 概要

【対象コンテンツ】

PDF、EPUB、画像（JPEG）、音楽（mp3）、動画（mp4）、HTML etc.

【動作環境】

- 管理サーバ
 - Linux（Red hat、Cent OS）
 - Windows Server 2003、2008

- デバイス
 - iPad、iPhone、iPod Touch（iOS 5.x）
 - Android（Android 2.2～4.0）
 - Windows XP、VISTA、7

3. コンテンツ管理のコア技術「MicroWebServer」

当社が開発した『**MicroWebServer**』を利用し、すべてのタブレット向けアプリを従来の開発の半分以下で開発します。
今回のコンテンツ管理パッケージのクライアント側は、1名 * 2ヶ月で作成しました。

【概要】

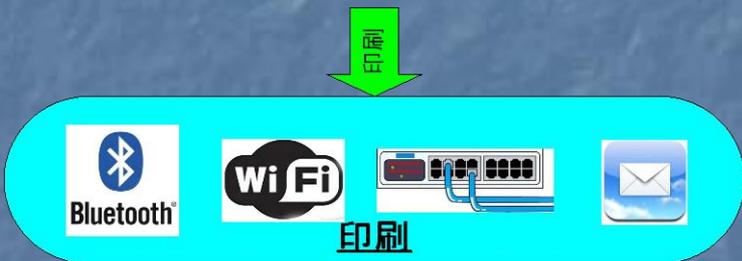
[動画をご覧ください](#)

【ポイント】

- 仮想的にタブレット内部でWEB、AP、DBサーバを稼動
- ワンソース/マルチプラットフォーム対応
(同じプログラムがiOS、Windows、Android、Linuxのどれでも動作可能)
- 既存のWeb言語 (HTML、jQuery、CGI、SQL、スクリプト言語) で簡単に開発可能
- オン/オフどちらでも動作可能 (オフ環境では高速検索&閲覧が可能)

3. コンテンツ管理のコア技術「MicroWebServer」

MicroWebServerの適用範囲



1つのアプリが全てのデバイスで稼働します

4. 今後の予定について

- SP スマートコンテンツ CUBE コンテンツ管理パッケージ
 - iOS Developer Enterprise Program版（自社向け）
 - AppStore対応版（個人・法人向け）
 - Volume Purchase Program対応版（法人向け）
 - Android版、Windows版の順次リリース
 - タブレットの操作ログの集計 & 分析
 - EPUB独自ビューワーの実装
- MicroWebServer（ミドルウェア）
 - ワンソース/オールプラットフォーム対応
 - Linuxサーバ版の対応
- MicroWebServerに関しては、無料紹介セミナーを行っています
 - 日時
 - 2013年03月13日（水） 14：00～17：00
 - 2013年03月27日（水） 14：00～17：00
 - 会場
 - 株式会社ソフトウェア・パートナー 7階会議室
 - 東京都新宿区住吉町2-1-1（都営新宿線 曙橋駅）

ソフトウェア会社の役割は、
システムを構築することではなく、
顧客の問題を解決することである！



株式会社ソフトウェア・パートナー